

特別養護老人ホーム・フェローホームズ「森の家」見学会 開催案内

3月の月例行事は、標記施設を見学させていただきます。参加ご希望の方は、下記の申し込み方法のとおりにお申し込み下さい。今回は、見学後に設計者、運営者、研究者を交えて、個室ユニットやユニットケアにかかわる意見交換をする場としての勉強会もあわせての見学会企画です。同施設で調査を続けている橋弘志先生（実践女子大）の研究結果も披露いただきながらディスカッションいたします。

記

フェローホームズ「森の家」 <http://www.fellow-homes.or.jp/html/morinoie.html>

- 日 時 2015年3月16日(月) 13:30-16:30
- 所在地 東京都立川市富士見町2-36-43
- 設 計 総合監修：(株) ライフデザイン建築研究所 設計：(株) 馬庭建築設計事務所
- データ 入所62名(特養52、短期10)/地上5階/RC造、延4,114.29㎡/2012年5月開設
- 特徴 フェローホームズ「森の家」は、従来型特養「仲間の家」(特養100名、短期4名)、グループホーム(9名)と隣接する形で建設されたユニット型特養。
1フロア2ユニット(2タイプ)とし、従来型特養との併設による様々な問題に配慮し、完全独立型ユニットとして計画した。屋上には庭園を設け、道路を挟んで向かい合う昭和公園との融和をはかった。
- 交 通 JR中央線「立川駅」より 徒歩15分
JR青梅線「西立川駅」より 徒歩5分
- 定 員 30名 (JIHa 会員・会友に限る)
- 参加費 3,240円 (税込)

写真撮影：①見学会開始前の撮影 ②施設利用者の撮影 ③フラッシュの使用 は禁止となります

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修：3時間(予定)
建築CPD(継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム(予定)

※ 申込方法

- 1) 申込方法：原則としてE-mailに限ります。FAXによる申し込みも受け付けますが、事務量軽減のため、なるべくE-mailをご利用下さい。
- 2) 申込期間：2月18日(水) 10:00～2月20日(金) 15:00(3日間)
先着順ではございませんので、上記受付期間中にお申し込みください。なお、お申し込み数が定員を超えた場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。
- 3) 記入事項：件名「フェローホームズ見学会参加申込み」
①参加者名(法人会員は複数並記可)、②勤務先・部署、③電話番号、④E-mailアドレス or FAX番号、⑤〒・住所(返信先)を記載のこと。
- 4) 申込人数：機会均等のため、応募者多数の場合は抽選の上、法人会員は1社2名様以内、会友は1法人1名様とさせていただきます。個人会員は本人のみとし、代理出席はできません。
- 5) 申込の確認：お申し込みいただいたものについて、抽選のない場合は受付期間後の翌日、抽選を行った場合は受付期間後2日以内に結果をメールで返信致します。返信のない場合はE-mail等にテお問い合わせください。
- 6) 受付期間終了後、抽選となった場合は、申込数と併せてホームページにてその旨ご報告します。なお、受付期間内に定員に達しなかった場合は、引き続き受付します。

本年度課題研究「医療福祉建築の火災対策」 公開勉強会 開催案内

2013年10月に福岡市の有床診療所で起きた火災では10名が亡くなり、また、高齢者施設においても度重なる火災により入所者の方々が亡くなっています。小規模医療施設では年間150件近くの火災が発生し、総務省消防庁では厚生労働省、国土交通省と連携して医療福祉施設の防火安全対策の強化と再発防止策を検討しています。このような流れを受け、本年度課題研究のテーマを「医療福祉建築の火災対策」とし、昨年9月の医療福祉建築フォーラム2014における中間発表では幾つかのポイントを提示しました。

そこで、医療福祉施設における昨今の火災対策について先月に引き続き第2回目の公開勉強会を開催いたします。今回のテーマを「医療福祉建築の今日的事例に見る防火・延焼対策」とし、各シンポジストから具体的な事例を題材にした防火・延焼対策の最近の動向について話題を提供いただき、これからの火災対策について考える機会にできればと思います。

記

- 日 時 2015年2月27日(金) 15:00～17:00
- 会 場 京都府立大学 稲森記念会館 105講義室(京都府京都市左京区下鴨半木町1-5)
- 次 第 □趣旨説明/「本年度課題研究 : 医療福祉建築の火災対策」
河合 慎介 氏(京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授)

□話題提供

- 「木造耐火建築物の医療施設～新柏クリニックを事例として～」
菅原 努 氏(榊竹中工務店)
- 「福岡火災後の有床診療所 ～産婦人科を事例として～」
岸場 正時 氏(榊内藤建築事務所)
- 「福祉施設の改修～障がい者支援施設みずのきを事例として～」
竹原 義二 氏(無有建築工房)

□質疑応答・討論

- 参加費 無料
- 定 員 100名 ※建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度認定プログラム

※参加申込み方法

- 1) 申込み方法: 原則としてE-mailに限ります。FAXによる申込みも受け付けますが、事務量軽減のため、なるべくE-mailをご利用下さい。
- 2) 申込期間: 2015年2月2日(月)～先着順に受付いたします。
- 3) 記入事項: 件名『公開勉強会「医療福祉建築の火災対策」参加申込み』①参加者名(法人会員は複数並記可)、②勤務先・部署、③電話番号、④E-mail アドレス or FAX 番号、⑤〒・住所を記載のこと。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail: office@jiha.sakura.ne.jp FAX: (03) 3453-7573

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．

JFMA FORUM 2015 第9回日本ファシリティマネジメント大会 ご案内

JFMA FORUM 2015 では、メインテーマを「日本を支えるファシリティマネジメント」とし、公共FMをいかに進展させるか、そこにいかに民間の知恵を活かすか、まさにこれからの日本社会を支えるFMの様々な講演・シンポジウムを企画しています。多彩なプログラムで構成されたアジア最大級のFMイベントには是非ご参加ください。

記

- 日 時 2015年2月18日(水)～2月20日(金)
- 会 場 タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀4-1-1)
- 参 加 費 JFMA会員2,000円、非会員3,000円、学生500円 (3日間通し券)
- 主 催 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 (JFMA)

- プ ロ グ ラ ム ※2月19日(木)には下記のヘルスケア関連2講演が予定されています。
プログラム全般は大会HPにてご確認ください。
- 11:30～12:20 ヘルスケアFM研究部会講演 (会場：2階 蓬莱)
「ヘルスケアFMの進化：設計者・コンサル等を巻き込む連携の形」
上坂 脩 (竹中工務店)
田中 一夫 (病院システム)
- 13:20～15:10 病院FMシンポジウム (会場：5階 大ホール)
「実力病院のベストプラクティスに学ぶ」
亀田 信介 (亀田総合病院院長)
相田 俊夫 (倉敷中央病院理事長)
和泉 隆 (帝京大学特任アドバイザー)
モデレーター：伊藤 一章 (日本医療経営コンサルタント協会理事)

- 来場事前登録 ホームページ内事前登録受付ページ
(<http://www.jfma.or.jp/FORUM/2015/>)にてお申込みください。
- お 問 合 せ 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会 (JFMA)
JFMA FORUM 2015 事務局 担当：土屋
TEL：03-6912-1177 FAX：03-6912-1178 E-mail：forum2015@jfma.or.jp
※ファシリティマネジャー資格更新B方式ポイント(3P/回)獲得

～．～

公開研究会 「あれから4年：仮設から災害公営住宅へ」 ～高齢者・障がい者の暮らしの場を考える～

東日本大震災からまもなく4年が過ぎようとしている。被災各地では復興に向けて災害公営住宅等の整備や、まちの復旧整備が急がれている。

仮設住宅での暮らしも5年目に突入し、災害公営住宅の整備も予定より遅れている中、自力再建できる方々は徐々に仮設住宅を離れ、結果的に仮設住宅には高齢者など社会的な弱者がとどまり、暮らしているという現実もある。

仮設から災害公営住宅へという移行のプロセスにおいて、現在起こっている実際や諸課題を共有し、特に高齢者や障がい者の暮らしの場の再興に向けての課題を、過去の震災の教訓を踏まえて再確認する場としたい。

記

- 日 時 2015年2月26日(木) 13:30～17:00
- 会 場 建築会館会議室(東京都港区芝5-26-20)
- プログラム
 - 主旨説明
石井 敏(主査：東北工業大学)
 - 主題解説
 1. 阪神大震災後のグループハウスの経験から
三浦 研(大阪市立大学)
 2. 仮設住宅と高齢者・障がい者の暮らし
中村 大蔵(社会福祉法人阪神共同福祉会)
 3. 災害公営住宅計画における福祉連携
佃 悠(東北大学)
 4. 相馬市が取り組む長屋型災害公営住宅の意義と実際
相馬市建築課担当者予定(相馬市)
 - ディスカッション
まとめ：橋 弘志(実践女子大学)
司会：神吉 優美(奈良県立大学)
- 参加費 A I J 会員2,000円、会員外3,000円、学生1,000円(資料代含む/当日会場払い)
- 定 員 40名(申込み先着順)
- 主 催 建築計画委員会/住宅計画運営委員会/高齢者・障がい者等居住小委員会/
東日本大震災における実効的支援の構築に関する特別調査委員会/岩手・宮城支援検討小委員会
- 申込み方法 Web 申込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=989> よりお申込みください。
- お問い合わせ 日本建築学会事務局 研究事業グループ 榎本
TEL:03-3456-2051 E-MAIL:enomoto@aij.jp

医療法人笠松会 有吉病院 ケア部長 福本 京子氏

- 申込み方法 日本ユニットケア推進センターHP (<http://www.unit-care.jp/>) 内WEBフォームよりお申し込みください。
- お問い合わせ先 ユニットケア研修フォーラム2015事務局 (担当：小山)
TEL:03-5470-4407 FAX：03-5470-4410
E-MAIL：shigeyuki_koyama@nata.co.jp

～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・～・・・

平成 26 年度 サービス付き高齢者向け住宅実務講習会のご案内

サービス付き高齢者向け住宅は、登録開始から3年が過ぎ、活発に供給が促進された反面、さまざまな課題も明確になってきており、国としても現行の補助事業等の見直し、質の向上や適性立地など、ニーズを踏まえた施策の検討を進めているところです。

(一財) 高齢者住宅財団では、地域包括ケアシステムにおける現状と課題を踏まえながら、今後の良質なサービス付き高齢者向け住宅の立ち上げを企画できる人材を養成することを目的に、講習会を実施いたします。

記

- 日 時 2015年3月16日(月) 10:00～16:30 (予定)
 - 会 場 東京証券会館8階ホール (中央区日本橋茅場町1-5-8)
 - 募集人数 200名程度
 - 参加費 財団賛助会員・出捐団体 15,000円、一般 20,000円
 - 主催 一般財団法人高齢者住宅財団
 - プログラム
 1. (仮) サービス付き高齢者向け住宅に関する施策動向について
国土交通省住宅局安心居住推進課 企画専門官 高橋 宏幸
 2. (仮) 医療・介護改革と住まい
一般財団法人高齢者住宅財団 理事長 高橋 紘士
 3. (仮) 地域包括ケアシステムにおけるサービス付き高齢者向け住宅
(現状と課題、今後の展望)
日本社会事業大学専門職大学院 教授 井上 由起子
 4. パネルディスカッション
「(仮) サービス付き高齢者向け住宅の今後のあり方について」
司会：日本社会事業大学専門職大学院 教授 井上 由起子
コメンテーター：日本介護支援専門員協会 常任理事 助川 未枝保
- <事例報告>
- ①株式会社メッセージ地域包括ケア事業部 本部長 安岡 信義
 - ②株式会社やさしい手 代表取締役社長 香取 幹
 - ③南医療生活協同組合 (愛知県東海市) よって横丁 事務長 原 範和
- まとめ：一般財団法人高齢者住宅財団 理事長 高橋 紘士
- 申込み方法 高齢者住宅財団ホームページ (<http://www.koujuuzai.or.jp>) より、申込用紙をダウンロードしていただき、下記FAX番号までお送りください。
 - お問い合わせ先 一般財団法人高齢者住宅財団 担当：小川・荒木 (受付担当：酒井・藤井)
TEL:03-6672-7227 FAX：03-3206-5256 E-mail：jitsumu14@koujuuzai.or.jp